

シンポジウムS5 土井ヶ浜遺跡の弥生人～発掘調査報告書刊行でわかったこと～

Traits of the Doigahama Yayoi people elucidated by study and analysis of human skeletal remains

オーガナイザー：松下 孝幸

10月10日（9：00～11：00）D会場

土井ヶ浜遺跡の1953年から1957年までの5次に亘る発掘調査で大量の保存良好な弥生人骨が出土したが、報告書が刊行されなかったために、これまで遺跡の内容や形質の全容を把握することができなかった。掘調査開始から61年経った2014年に多くの研究者の協力を得て、1次～5次調査を中心にして19次調査までの内容をまとめた報告書をようやく刊行することができ、土井ヶ浜遺跡とこの遺跡から出土した弥生人骨に関して、ほぼ全容を明らかにすることができたので、その成果を紹介したい。発表内容は、発掘調査の歴史、埋葬、人骨と歯の形質（形態、抜歯、齧蝕、咬耗、非計測的特徴）、食性分析、利器損傷、ストロンチウム同位体比分析などである。

講演

S5-1 土井ヶ浜遺跡発掘調査の歴史と人骨形質（松下 孝幸）

History of excavation of the Doigahama site and physical characteristics of the Doigahama Yayoi people (Matsushita, Takayuki)

S5-2 土井ヶ浜遺跡の埋葬様式および抜歯と外耳道骨腫（松下 真実）

Burial type and tooth extraction, aural exostosis of the Doigahama Yayoi people (Matsushita, Masami)

S5-3 歯冠と歯根の非計測的形質からみた土井ヶ浜弥生人の特徴（真鍋 義孝）

Nonmetric tooth crown and root traits of the Doigahama Yayoi people (Manabe, Yoshitaka)

S5-4 土井ヶ浜弥生人の咬耗と歯科疾患（小山田 常一）

Tooth wear and dental morbid conditions of the Doigahama Yayoi people (Oyamada, Joichi)

S5-5 土井ヶ浜弥生人にみられる利器による骨損傷の古病理学的分析（大藪 由美子）

Paleopathological analysis of wounds by sharp weapons on the human skeletal remains of Doigahama site, Yayoi period (Oyabu, Yumiko)

S5-6 同位体分析による土井ヶ浜弥生人の食性復元と弥生時代における食生態の多様性（米田 穰）

Isotopic dietary reconstruction of Doigahama and other Yayoi populations (Yoneda, Minoru)

S5-7 土井ヶ浜弥生人骨歯牙のストロンチウム同位体比分析（予報）（高椋 浩史）

Strontium isotope analysis on human skeletal remains of the Yayoi period from the Doigahama site (preliminary report) (Takamuku, Hirofumi)